

多職種のための 在宅がん緩和へのアプローチ…地域づくりのヒント



ホームよりも個人宅を主に訪問する、いわゆる「個人在宅」医療。そこに力を注ぎ、地域ぐるみの医療体制を充実させようとする総合在宅医療クリニック代表の市橋亮一先生をお招きします。医師免許の他にケアマネージャー資格も持つ市橋先生は、複数の医師と看護師でチームを組むことで24時間対応の医療体制を作りました。それを支えるベッドサイドカルテによる情報共有の仕組み、地域に開かれた勉強会、独居の看取り、亡くなることの家族への教育、管理栄養士による食支援、音楽療法士の活用など、サービスの質を高めるさまざまな実践ヒントを紹介して頂きます。

著書「ケアマネージャー がん緩和 7つのフェーズと21の実践」

日時：平成27年3月2日(月) 19:00-20:30

場所：徳島大学医学部 第三、四会議室（医学臨床A棟）

講師：市橋 亮一先生（総合在宅医療クリニック 代表）

対象：蔵本キャンパスの学生、教職員、医療にかかわるすべての方

主催：徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部 医療教育開発センター

平成26年度学長裁量経費（教育支援：パイロット事業費）

「"Does"の教育を目指した新しい医療共通教育プログラムの開発」

平成26年度徳島大学パイロット事業支援プログラム（社会貢献支援事業）

「スキル・ラボ」を拠点とした地域医療人スキルアップ・復職支援教育プログラムの開発と実践事業」

共催：徳島大学病院 キャリア形成支援センター

徳島県地域医療支援センター

【お問い合わせ/お申込み】 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部 医療教育開発センター
〒770-8503 徳島市蔵本町3-8-15 TEL088-633-9104 (内9104)
E-mail: kaiatsu_2@tokushima-u.ac.jp (担当：石田)